

令和 7 年度 第 1 回大農事組合長会議次第

開 催 日 時 及 び 場 所

日 時		対象地区	会 場
5 月 2 0 日 (火)	午前 1 0 時 0 0 分	直方・小竹地区	本 所
	午後 1 時 3 0 分	宮若地区 (若宮)	宮若支所
5 月 2 1 日 (水)	午前 1 0 時 0 0 分	鞍手地区	鞍手支所
	午後 1 時 3 0 分	宮若地区 (宮田)	宮農経済 総合センター

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

4. その他

1. 営農生活課からの連絡

- (1) 大農事組合長の年間スケジュールについて P 1
- (2) 米出荷契約及び米の取り組みについて P 1～2
- (3) 普通期水稻の管理について P 3～5
- (4) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について P 6
- (5) 農作業の安全確認と予防対策について P 7
- (6) 農薬の適正使用についてお願い P 8
- (7) 日本農業新聞について P 9

【4】閉会のことば

2. 経済農機課からの連絡

- (1) 若宮インター給油所・鞍手給油所の営業時間変更及び休業日について P 1 0

3. 総務課からの連絡

- (1) 令和 6 年度事業報告及び令和 7 年度事業計画等 (第 2 4 回通常総代会関連事項)
について

(1) 大農事組合長の年間スケジュールについて

1. 年間行事

年 月	会議・研修会(予定)	主な会議内容及び配布物
令和7年 4 月		J Aだより
5 月	大農事組合長会議	会議等年間計画、総代会資料 へり防除の申込（宮若地区） J Aだより
6 月		J Aだより 総代会資料
7 月		出荷用紙袋注文 J Aだより
8 月		春馬鈴薯種子、玉ねぎ苗・甘藍苗注文 J Aだより 米の集荷案内
9 月	大農事組合長会議	米の概算金、賦課金の徴収案内 春馬鈴薯の注文 J Aだより
10 月		J Aだより
11 月		J Aだより
12 月	大農事組合長会議	米の集荷及び検査実績 水稻肥料・農薬等の注文 稲作ごよみ J Aだより カレンダー
令和8年 1 月		J Aだより
2 月		J Aだより
3 月		夏野菜苗注文 大農事組合長・農事小組合長変更(継続)報告書 J Aだより

2. 農事組合長手当

大農事組合長	20,000円 + (1,000円 × 農事小組合数)
農事小組合長	1,000円 × J Aだより配布数

●支払日：令和7年12月（予定）

●支払方法：口座振込

(2) 米出荷契約及び米の取り組みについて

令和7年5月20日

組合員各位

直鞍農業協同組合

令和7年産米の出荷契約について

拝啓 陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より当組合の事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、4月下旬より管内の公民館等で「令和7年産米の出荷契約」の締結手続を行っております。
当J Aでは、締結頂いた契約数量をもとに、全農及び業者との協議を行い販売計画を立てております。販売先への安定供給を行うため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
尚、当J Aへ出荷された組合員の皆様につきましては、栽培履歴の提出が必須となっておりますので、後日お配りいたします栽培履歴記入用紙にご記入いただき必ず提出をお願いいたします。

敬具

記

1. 提出頂く書類
- ①令和7年産米出荷契約書
②出荷契約にかかる数量明細書
2. 留意事項
- 出荷時期での契約についても受付いたしますので、出荷のご検討をお願いします。

以上

お問い合わせ先
J A直鞍 営農生活課（担当：稲垣）
TEL 32-3755

大農事組合長 各位
農事小組合長 各位

令和7年4月25日

直鞍農業協同組合

令和7年産米の取り組みについて

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、米をめぐる状況については、家庭用精米の店頭売価は前年より倍近い価格で推移していますが、生産量が前年より多い一方で、JA等の大規模な集荷業者の集荷量は減少し、流通に目詰まりが生じている為、政府は備蓄米を放出し、米の流通の円滑化を図りました。しかし、米の価格の考え方についてJAでは、生産者が再生産可能な金額が重要である事を念頭に、7年産米の販売に取り組んでまいります。つきましては、JAの役割として主食用米の円滑な流通の確保と消費者への安定供給に向け、生産者の皆様が出荷を検討していただける様、JA米概算金の目安を下記のとおり通知いたします。なお、下記の金額についてはあくまで目安となっておりますが、今後も米の取引価格は増加していくと考えられますので、正式な概算金の決定については情勢を鑑みて8月下旬・9月下旬にお知らせいたします。

記

- 対象品種
コシヒカリ・夢つくし・元気つくし
ヒノヒカリ・にこまる・実りつくし
恵つくし
- JA米概算金目安
21,600円/俵(1等米)
等級格差1-2等▲300円
1-3等▲1,320円

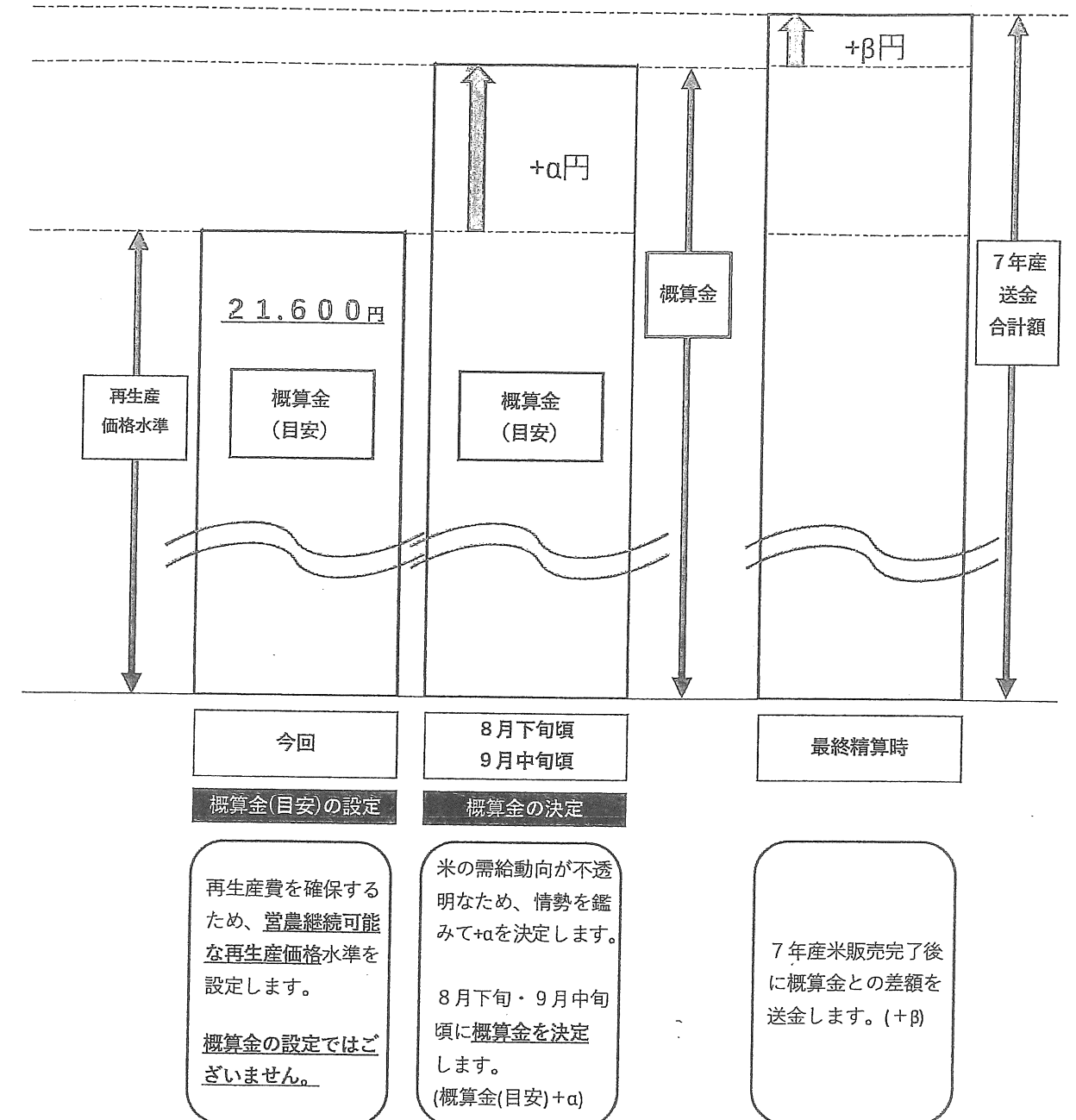
※裏面にイメージ図を記載しております。

以上

ご質問・お問合せ
営農生活課
TEL 32-3755

令和7年産米の考え方

生産者概算金



(3) 普通期水稻の管理について

令和7年5月8日
直鞍農業協同組合

1. 品質の良い米づくりは健全な苗づくりから！

近年、育苗期にいもち病やもみ枯細菌病の発生が増加しています。菌を本田に持ち込まないように、育苗期から対策を徹底しましょう。

【いもち病対策】

- ・育苗箱かん注処理や箱施薬など、育苗期防除の実施。
- ・置き苗の除去（いもち病の発生源になるため）。
- ・本田では多肥栽培を避け、ケイ酸質資材を施用する。

【もみ枯細菌病対策】

- ・塩水選や種子消毒の徹底。
- ・出芽期～緑化期の高温多湿（32℃以上）を避ける。

2. 水稻は適期に移植しましょう！

J A直鞍の水稻うるち米 1 等比率は 2.2% でした。品質向上のため、水稻の移植は以下の適期に行いましょう。

品種	移 植 適 期（平坦地の場合）
夢 つ く し	6 月 5 日～
元 気 つ く し	6 月 1 0 日以降（6 月中旬が望ましい）
ヒノヒカリ	6 月 1 5 日以降
実りつくし	6 月 1 5 日以降

適期より早く移植すると・・・

① 検査等級や収量が低下します。

（登熟期間が高温に当たり、白未熟粒や充実不足粒が発生するため）

※ 高温耐性品種の「元気つくし」でも早植えにより検査等級や収量の低下となります

3. ウンカの対策を徹底しましょう！

- ①箱施薬剤には、必ずゼクサロン（トリフルメソピリム）成分を含んだ薬剤を使用。
- ②箱施薬剤は、必ず1箱当たり 50g を遵守のこと。

4. 本田でのいもち病対策を行いましょう！

- ・穂いもち病の発生が予想される場合は、予防対策として出穂前（30日～5日）にコラトップ1キロ粒剤又は、ジャンボ剤を使用しましょう。

5. カメムシ類の発生に注意しよう！

- ・近年、カメムシ類の発生が、拡大傾向にあります。出穂期前に畦畔の草刈りを実施し、ほ場内の侵入を防ぎましょう。
- ・ほ場内で発生を見たら防除を行って下さい。

6. 前年夏作が大豆後作や地力の高いほ場は基肥を減らしましょう！

- ①前年夏に大豆を作付けしたほ場では、水稻の生育が旺盛となり、倒伏等による収量低下が見受けられます。
- ②生育過剰による倒伏を防ぐため、10a 当りの基肥量を基準より窒素成分で2～3 kg 程度（基肥料を 10～15kg 程度減らす。）

つばきあぶらかす

椿油粕は適正に使用しましょう

- ◆特殊肥料として販売されている椿油粕は、農薬として登録されていないため、ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の駆除目的で使用することは禁止されています。
- ◆害虫の駆除目的で使用や販売を行うと、農薬取締法違反となります。ジャンボタニシの駆除には登録のある農薬を使用しましょう。

無登録農薬の使用 = 農薬取締法第24条違反

無登録農薬の販売 = 農薬取締法第18条違反

※罰則あり

肥料として「椿油粕」を使用する場合の注意事項

流出しやすい場所では使用を避けてください!!

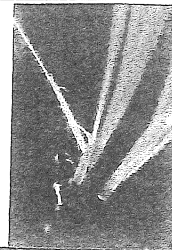
- ◆「椿油粕」には、強い魚毒性があります。
（含有成分のサポニンによる界面活性作用によるもの）
- ◆肥料として使用する場合も、水を張った水田や、用排水路や池などに流出しやすい場所では使用を避けてください。

問い合わせ先

福岡県 農林水産部 食の安全・地産地消課
生産安全係 TEL:092-643-3571

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

スクミリンゴガイは水温が15℃以上になると食害を開始します。
被害は田植え後約3週間までが大きく、この期間を乗り切ることが被害を抑えるポイントになります。



1. どんどん増える理由＜生態＞

寿命は2～3年で、水田内、用排水路などで潜って越冬します。
産卵は4月～10月頃で、メスは年間3,000個以上の卵を産みます。
卵は夏季には10日～2週間でふ化します。ふ化した稚貝は、春～夏期には50～60日で産卵が可能となります。

2. 水稻への被害

稲は3～4葉期までが食害されやすいですが、5葉期以降ほとんど食害されません。
被害は貝高2cm以上の貝の発生量が多いほど、水深が深いほど大きくなります。



スクミリンゴガイの食害による欠株

3. 冬季の対策

- ①極寒期(1～2月)にほ場を耕起し、土中の越冬貝を寒気にさらす。
※1 耕起深度を浅く、ロータリ回転数を上げて細かく碎土すること。
※2 貝を他のほ場に持ち込まないために、ロータリやタイヤをよく洗うこと。
- ②用水路の越冬貝対策として、水路等の清掃を行うこと。

4. 田植前の対策 = 石灰窒素の利用 =

- 手順1 水田を荒起こしして、深さ3～4cm程度水を入れ、3～4日放置する。
- 手順2 石灰窒素20～30kg/10aをムラなく散布し、3～4日放置する(湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない)。
- 手順3 植代後、2～3日おいて田植えを行う(石灰窒素を含んだ水は水路に流さない。)

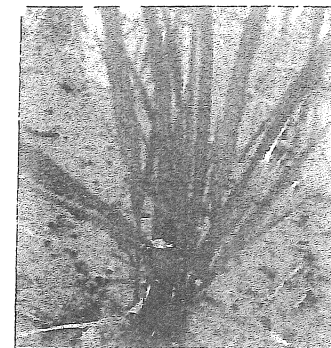
石灰窒素を散布した場合は基肥施用に注意！

【基肥基準：ベスト4・4・4 35～40kg(窒素成分で4.9～5.6kg)/10a】
タニシ対策で石灰窒素を20kg入れた場合(窒素成分で4.0kgが施用)
→この場合、不足分の窒素(0.9～1.6kg)をベスト4・4・4を7～12kg投入で補う。
※石灰窒素は、エコ認証米、減々米(わざあり米)には使用できません。

5. 田植え時期の対策

①物理的防除

- 1)生貝の捕殺(定期的に捕殺)
野菜くず、少し硬めのタケノコを畦畔沿いに置き誘因すると食害が軽減されるとともに捕殺しやすい。
- 2)卵塊の圧殺(卵をつぶす)
ピンク色の時は水に落とすだけで駆除できます。
ただし、ふ化直前の黒～白っぽい卵は水中でふ化可能なので、圧殺してください。
- 3)侵入防止網を設置
水口に侵入防止網を取り付け、水路からの新たな貝の侵入を防ぐ
網目は9mm程度。網にゴミ等が詰まることがあるので注意する。



スクミリンゴガイの卵塊

ほ場の均平と浅水管理がポイント！

②耕種的防除

- スクミリンゴガイが、水稻に大きな被害を及ぼすのは田植え後約3週間まで。
- 1)浅水管理
田植直後～田植え後3週間の間は、ごく浅く湛水を行う(ただし、除草剤の処理時～4日間程度を除く)水深は1cm以下が理想。
ほ場が凸凹だと深いところの株が食害されるので、田植え前にほ場の高低を出るだけなくしておく。

③農薬による防除

スクミリンゴガイの発生が多い場合は、田植え後すぐに薬剤防除を行う。

●スクミリンゴガイ対策の薬剤 ※わざあり米は、スクミベイト3のみ使えます。

区分	名称	10a当たり 使用量	使用時期	備考
わざあり米 慣行栽培米 飼料用米等	スクミベイト3	2～8kg	発生時	化学農薬成分に カウント無
慣行栽培米 飼料用米等	スクミノン	1～4kg	収穫60日前 まで	

水口、水深が深いところ、ほ場の周囲等タニシの集まるところへのスポット処理も有効です！

斑点米カメムシ類の被害に要注意

斑点米カメムシ類とは

カメムシ類が籾を加害すると黒色または茶色の斑点ができた玄米、いわゆる「斑点米」が生じます。

斑点米カメムシ類は、斑点米被害を引き起こすカメムシ類の総称であり、全国で30種以上存在しています。

斑点米カメムシ類の種類

アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ等が主要種とされています。

地域毎に主要種となっている種類は異なります。

1. アカヒゲホソミドリカスミカメ

体長5～6mmの小型種、年間の発生世代数は3～5世代程度。イネ科植物に産卵し、卵で越冬します。割れ籾の発生が多いほど、斑点米が多くなるとされています。

2. クモヘリカメムシ

体長15～17mmの大型種で、年間の発生世代数は1～2世代程度。樹木枝葉、樹冠等で成虫で越冬します。

3. イネカメムシ

体長12～13mmの大型種で、年間の発生世代数は1～2世代程度。他の斑点米カメムシ類と異なり、稲への嗜好性が高いです。また、斑点米だけでなく籾が充実しない被害、いわゆる不稔被害を引き起こします。

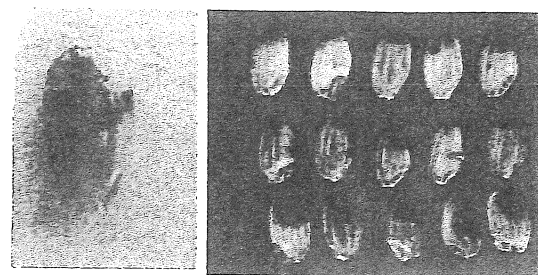


図 斑点米

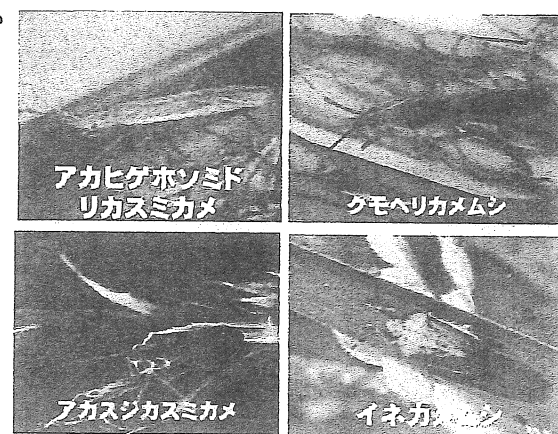
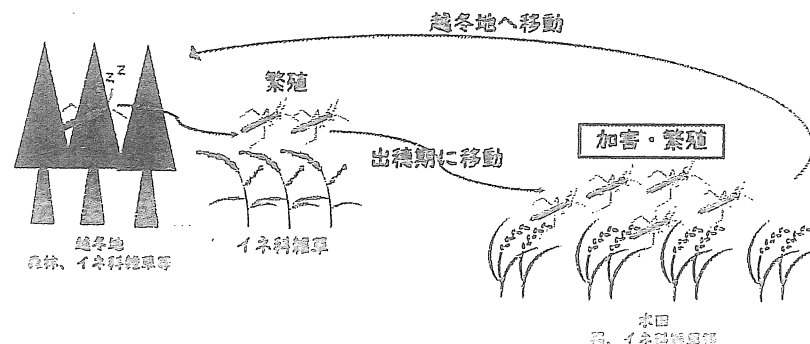


図 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の1年間

斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で繁殖することが多く、稲の出穂前後に水田に侵入します。

発生量はその年の気候条件や周囲の環境により、大きく変動します。



防除対策について～地域一斉の防除で効果UP～

標準的な防除対策は、以下のとおりです。

斑点米カメムシ類の種類等によって、効果的な対策は異なりますので、詳細は都道府県病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

その1 適期の薬剤散布

- ✓ 都道府県の発表する発生予察情報を参考にしながら、水田内の発生状況、水稻の生育状況をよく確認し、適期に薬剤散布を実施しましょう。
- ✓ 薬剤散布は主に収穫期以降に実施されますが、薬剤散布の適期は、斑点米カメムシ類の種類や使用する薬剤の種類により異なりますので、各都道府県の防除指針、地域の防除暦等を参考にしてください。



イネカメムシ対策（不稔被害防止）では、収穫期の薬剤散布を実施しましょう。一部の地域では薬剤抵抗性が発達した個体（特定の薬剤が効きにくい個体）も確認されています。同一系統の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がけましょう。

その2 雑草管理の徹底

- ✓ 水田周辺の畦畔、休耕田等の雑草除去を実施し、斑点米カメムシ類の密度低減を行しましょう。
- ✓ また、水田内のノビエやイヌホタルイも斑点米カメムシ類の増殖・飛来源となりますので、除草しましょう。



収穫期以降の畦畔の除草は、かえって畦畔の斑点米カメムシ類を水田に追い込むこととなります。草刈りは、稲の出穂10～15日前までに終了しましょう。

こういった場合は、斑点米被害が発生しやすい

